

2009 / 年報

平成21年度

No.17

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館



はじめに

開館以来 17 年目、そして第Ⅱ期指定管理制度の初年度にあたる今年度は、開館当初の設置目的を基本に据えながら、時代の要請をふまえて館経営にあたらせていただきました。当館を取りまく環境の変化は、開館当初とは比較にならないほど大きいですが、とりわけ県民を初めとする皆様の経済的環境には厳しいものがあり入館状況にも変化があります。この状況は当館だけのものではなく、県内各地の博物館・美術館・資料館も同様であり、各館とも並々ならぬご努力をなさっておられます。当館としてもそのような状況に対応してきました。展示の魅力アップや職員の対応改善など入館者サイドからの視点での改善を図ると共に経費節減・予算の重点化などを行ってきました。

展示では、山形県の歴史と直結するようなテーマの企画展を行い、関連テーマの考古学セミナーを実施したり、県民の要請に応える速報展的な特別テーマ展「発掘おきたま最前線の考古展」をシリーズで行うなど魅力アップに努力しました。また、展示資料のキャプションや解説資料にも工夫しました。これらを実施するにあたり、山形県教育庁文化財保護推進課・財団法人山形県埋蔵文化財センターや各市町村教育委員会等の諸機関・東北芸術工科大学及び県内の研究者の方々に大変多くのご協力を賜りました。ご協力下さった各機関や研究者の方々は、山形県の貴重な文化遺産である考古資料（埋蔵文化財）の、保護思想の普及・啓蒙という視点でご協力下さったものと思います。今後もこの精神を大事にしていかなければならないと肝に銘じております。

また、当館の利益だけを考えるのではなく、県下の歴史研究団体や文化財保護団体等が抱える課題に対処して、置賜地区のそれらの団体が結集するうきたむ学実行委員会と共催で始まった「うきたむ学講座」にも努力させていただきました。お陰様にて当館研修室が満席になるほどの盛況でした。

このように多くの方々の協力の環を広げると共に、職員一丸となって考古資料と入館者への限らない愛と考古資料館に対する深い思い入れを大切にしてきました。職員全員が自分の職務分掌に埋没しないよう「分業」と「協業」をつなぐ「報・連・相」を大切にすると共に、来館者を福の神として「再来」していただけるように出来る限りの対応に努めてまいりました。

本書はこうした一年間の記録であります。ひとつ一つの活字に上記のようなことを記すことは困難ですが、こんな背景もあることを含んでいただければ幸甚です。

末尾になりますが、上記の機関等や研究者の皆様と、うきたむ考古の会・山形考古学会・歴史公園管理組合の皆様へ深く感謝申し上げます、はじめの言葉とします。

平成 22 年 3 月吉日

館 長 佐 藤 鎮 雄

目 次

| | |
|-------------------|----|
| 1. 施設の概要 | 1 |
| 2. 開館後のあゆみ | 2 |
| 3. 展示の概要 | 5 |
| (1) 常設展示及びテーマ展示 | |
| (2) 第17回企画展 | |
| 4. 教育普及活動 | 7 |
| (1) 記念講演会 | |
| (2) 体験教室 | |
| (3) 遺跡研修 | |
| (4) 第11期「考古学セミナー」 | |
| (5) 考古資料検討会 | |
| (6) 第Ⅳ期うきたむ学講座 | |
| (7) 学校教育との連携 | |
| (8) 学芸員実習 | |
| 5. 資料の活用 | 10 |
| (1) 資料貸出 | |
| (2) 写真利用 | |
| (3) 資料館資料の特別利用 | |
| (4) 刊行物一覧 | |
| 6. 入館状況 | 11 |
| (1) 月別入館者一覧表 | |
| (2) 主な入館団体一覧 | |
| (3) 来観者アンケート | |
| 7. 管理及び運営 | 13 |
| (1) 組織・職員 | |
| (2) 運営協議会 | |
| 8. 受贈図書 | 14 |
| 9. 利用案内 | 21 |

1. 施設概要

(1) 設置の趣旨

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館は、本県にとっての歴史上重要な古代の遺跡に関する資料の収集、保管及び展示を行うとともに、風土記の丘の中心として設置するものである。

(2) 沿革

| | |
|--------|--|
| 昭和51年度 | 第6次山形県総合開発計画及び第2次山形県教育振興計画において、風土記の丘（歴史公園）建設構想提示 |
| 昭和56年度 | 風土記の丘実態調査を実施し、候補予定地は、高島町の洞窟遺跡群を中心とする置賜地域が適当と報告 |
| 昭和60年度 | 第7次山形県総合開発計画及び第3次山形県教育振興計画において、候補地区を高島町を中心とする置賜地区に位置付け |
| 昭和61年度 | 風土記の丘基本構想・計画を作成 |
| 平成2年度 | 考古資料館の基本・実施設計を作成 |
| 平成3年度 | 高島町町有地を借用し、考古資料館本体工事着工、展示工事着工 |
| 平成4年度 | 考古資料館建物本体・展示工事完成、考古資料館外構工事・植栽工事施工、名称を「うきたむ風土記の丘考古資料館」に決定 |
| 平成5年度 | 考古資料館開館 4月23日 |

(3) 施設

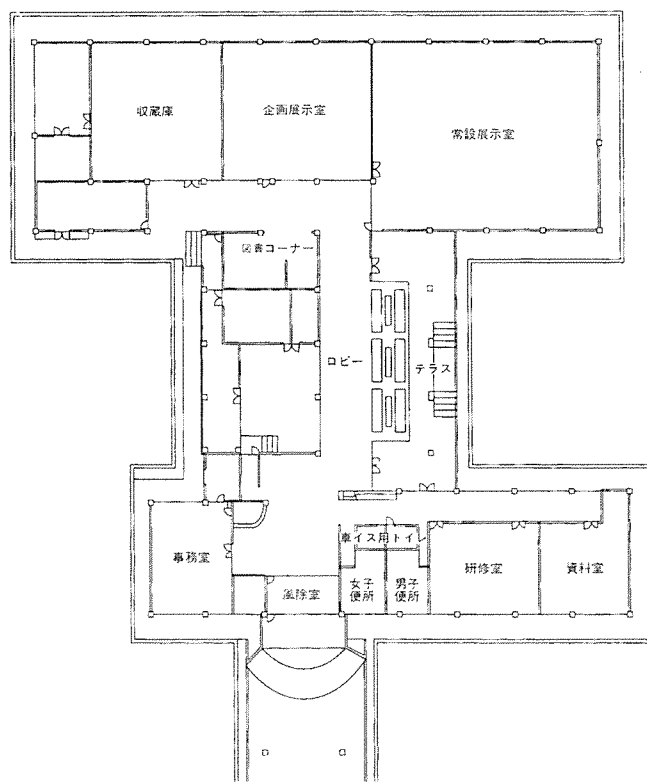
①構造・規模

鉄筋コンクリート造平屋建

敷地面積： 7,000m²

延床面積：1,358.24m²

| | |
|-----------|----------------------|
| 常設展示室 | 279.00m ² |
| 企画展示室 | 129.37m ² |
| 収蔵庫(2層) | 129.37m ² |
| 研修室 | 125.70m ² |
| 事務室 | 67.50m ² |
| 作業室・荷解室 | 51.75m ² |
| ロビー・ホール | 336.85m ² |
| その他(機械室等) | 238.70m ² |



[山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館平面図]

2. 開館後のあゆみ

- 平成5年度 開館記念行事・記念講演「考古資料館に期待すること」 文化庁 田中 琢氏
第1回特別展「縄文の四季」
シンポジウム「祈りとたたかいの中世」
第1回収蔵品展「押出遺跡とその周辺」
第1回企画展「古墳と人々の暮らし」
講演会「末期古墳がつくられたころ」 福島大学 工藤雅樹氏
第2回収蔵品展「最近発掘された置賜の遺跡から」
- 平成6年度 第2回企画展「一ノ坂遺跡と巨大住居」
講演会「東北・北陸の巨大住居が意味するもの」 秋田埋文センター 富樫泰時氏
第3回収蔵品展「平地と山地の縄文遺跡」
第1期やさしい考古学入門講座
「縄文時代の人々と文化」 日本考古学協会会員 佐藤鎮雄氏 他10回
第3回企画展「発掘された中世—まじないと祈りの世界—」
講演会「中尊寺金色堂の視線」 東北大学 入間田宣夫氏
第4回収蔵品展「古代の村と暮らし」
- 平成7年度 開館3周年記念特別展「よみがえる縄文文化」
講演会「三内丸山遺跡と東北の縄文文化」 青森県教育委員会 岡田康博氏
第5回収蔵品展「高島の古墳時代」
第2期やさしい考古学入門講座「日本のやきものの流れ」
「縄文草創期・早期」 山形埋文センター 佐々木洋治氏 他10回
うきたむ考古の会設立 東北中世考古学会設立
第4回企画展「やまがた古代の役所」
味噌根窯跡の発掘調査（～12月上旬）
講演会「古代出羽の役所」 酒田市教育委員会 小野 忍氏
第6回収蔵品展「置賜のやきものの移りかわり」
- 平成8年度 第5回企画展「古代の窯業遺跡」
講演会「古代の窯業遺跡」 国立歴史民俗博物館教授 吉岡康暢氏
第3期やさしい考古学入門講座「遺跡発掘最前線～遺跡を掘るⅠ」
「弥生時代の遺跡を掘る」 山形埋文センター 佐藤庄一氏 他10回
第7回収蔵品展「縄文の四季」
第3回特別展「縄文のタイムカプセル押出遺跡展」
講演会「縄文文化と現代」 国立歴史民俗博物館 佐原 真氏
第8回収蔵品展「土器のうつりかわり」
- 平成9年度 第6回企画展「縄文の花開いて～一ノ坂・台ノ上遺跡～」
テーマ展「考古資料からみた古代・中世」（企画展期間を除く）
講演会「古代出羽の都」 酒田中央高校 佐藤禎宏氏
講演会「縄文文化の魅力」 國學院大学 小林達雄氏
第4期やさしい考古学入門講座「遺跡発掘最前線～遺跡を掘るⅡ」
「大型住居跡を掘る」 米沢市教育委員会 手塚 孝氏 他5回

- 平成10年度 第7回企画展「やまがたの弥生文化－水田稲作の始まり－」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）
 考古学入門講座「中世の考古学」
 「奥羽の中世世界」 山形大学 伊藤清郎氏 他5回
 講演会「東北の弥生文化－その成立と展開－」 東北大学 須藤 隆氏
- 平成11年度 第8回企画展「やまがたの古墳とその時代」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）
 考古学セミナー「やまがたの古墳とその時代」
 「古墳時代の集落」 山形県立博物館 阿部明彦氏 他5回
 講演会「日本の中の山形の古墳」 明治大学 大塚初重氏
 置賜地区遺跡発掘調査報告会
- 平成12年度 第9回企画展「縄文時代・最後の世界」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）
 考古学セミナー「奈良・平安の考古学」
 「飛鳥時代の東北」 福島県教育委員会 木本元治氏 他5回
 講演会「縄文文化の最後の世界～東北・北陸の縄文晩期の文化」
 明治大学 石川日出志氏
 2000年山形の発掘〈調査検討会〉
- 平成13年度 第10回企画展「発掘された山形の城館跡」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）
 考古学セミナー「城館跡の考古学」
 「城館跡を歩き楽しむ」 中世城郭研究会 横山勝栄氏 他5回
 講演会「奥羽における城館跡」 山形大学 伊藤清郎氏
 2001年山形の発掘〈調査検討会〉
- 平成14年度 第4回特別展「やまがたの縄文土器」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）
 考古学セミナー「やまがたの縄文土器」
 「縄文土器の出現と展開」 山形県教育庁 渋谷孝雄氏 他5回
 講演会「やまがたの縄文土器」
 國學院大学 小林達雄氏、東京都教育委員会 安孫子昭二氏
 2002年置賜の発掘〈調査検討会〉
- 平成15年度 第11回企画展「古代長者の世界～古志田東遺跡展」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）
 考古学セミナー「平安時代の歴史と考古」
 「平泉と出羽」 山形県立米沢女子短期大学 吉田 歆氏 他5回
 講演会「古代長者の世界～古志田東遺跡」
 山形大学 三上喜孝氏、米沢市教育委員会 手塚 孝氏
 2003年置賜の発掘〈調査検討会〉
- 平成16年度 第12回企画展「埋められた経こめられた願い やまがたの経塚」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）
 考古学セミナー「信仰の歴史と考古」

「中世出羽の宗教と民衆」 山形大学 伊藤清郎氏 他5回
講演会「東日本の経塚と地域性」 国立歴史民俗博物館 村木二郎氏
「やまがたの経塚」 当館館長 川崎利夫
2004年置賜の発掘〈調査検討会〉

平成17年度 第13回企画展「古墳ができたころ 山形盆地の集落跡を中心に」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
考古学セミナー「古墳出現期の考古学」
「古墳時代前期とはどんな時代か」 山形県教育庁 尾形典典氏 他5回
講演会「土器からみる古墳出現期の地域間交流」 東北学院大学 辻 秀人氏
2005年置賜の発掘〈調査検討会〉

平成18年度 第14回企画展「旧石器から日向へー大きく変わった環境と文化ー」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
考古学セミナー「旧石器・中石器の考古学」
「ナイフ形石器を使う人々」(財)山形県埋蔵文化財センター 渋谷孝雄氏 他5回
講演会「日向洞窟の石器が語る環境と文化の大激変ー旧石器から縄文へー」
東北学院大学 佐川正敏氏
2006年置賜の発掘〈調査検討会〉
第I期うきたむ学講座 米沢女子短期大学 吉田歆氏他 全3回

平成19年度 第15回企画展「縄文の至宝 押出遺跡」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
考古学セミナー「縄文時代前期の考古学ー押出遺跡にみる縄文人のくらしー」
「縄文の至宝 押出遺跡」 山形県教育庁文化財保護室 渋谷孝雄氏 他5回
講演会「押出遺跡の世界」 山形県教育庁文化財保護室 佐藤庄一氏
2007年置賜の発掘〈調査検討会〉
第II期うきたむ学講座 山形大学人文学部 三上喜孝氏他 全3回

平成20年度 第16回企画展「出羽国ができるころ」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展・特別テーマ展期間を除く)
特別テーマ展「発掘おきたま最前線の考古展ー蘇る原始・古代の置賜象ー」
展示：(財)山形県埋蔵文化財センター
考古学セミナー「飛鳥・奈良時代のやまがた」
「置賜における古代窯業の開始」 東北芸術工科大学 北野博司氏他
講演会「出羽国ができるころ」 当館名誉館長 川崎利夫氏
2008年山形の考古資料検討会
第III期うきたむ学講座 米沢女子短期大学 吉田歆氏他 全3回

平成21年度 第17回企画展「じょうもん天地人ーやまがた前期縄文人のたたかいー」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展・特別テーマ展期間を除く)
特別テーマ展「発掘置賜最前線の考古展ー蘇る中世・近世の置賜象ー」
展示：(財)山形県埋蔵文化財センター
考古学セミナー「やまがたの縄文時代前期を考える」
講演会「じょうもん天地人」 東北芸術工科大学 安斎正人氏
2009年山形の考古資料検討会
第IV期うきたむ学講座

3. 展示の概要

(1) 常設展示及びテーマ展示

ロビーでは常設展示「置賜のあけぼの」をテーマに、飯豊町上谷地や小国町岩井沢・湯の花遺跡などから出土した旧石器時代の資料を展示している。また、これとは別に「さわられる考古資料」のコーナーを設置し、入館者が自由に土器や石器の破片などの考古資料に触れることができるようになっている。

常設展示室は、「大谷地をかこむ遺跡」「縄文時代のタイムカプセル」「古墳をつくる人々」の三部構成で、主として置賜を中心とした原始・古代の資料を紹介しながら、地域の歴史を解説している。入口より、日向洞窟をはじめ縄文時代の幕開けをつげる高畠町の国指定史跡の4つの洞窟遺跡、次に縄文時代の低湿地遺跡で縄文クッキーをはじめ数々の木製品、彩漆土器などが出土した押出遺跡を遺物やジオラマで紹介。そのほか豪壮な縄文中期の土器や、後期・晩期の繊細な土器の変遷が土偶や石器とともに展示している。古墳時代の展示では、資料館のすぐそばにある安久津古墳をはじめ、置賜地域に広く分布する古墳の様子を、写真パネルを用いて解説している。

企画展示室では企画展期間を除き、主としてテーマ展「古代・中世の考古資料」を行っている。古墳時代以後の考古遺物、6世紀から江戸時代までの器や信仰遺物や、奈良・平安時代の文字資料・硯などを展示している。一部資料を改編し、新たに南原遺跡の石製品や寝鹿遺跡の坏などを追加し、早坂山遺跡出土の板碑の配置替えを行った。そのほか、他機関の協力によりミニ企画展や、特別テーマ展「発掘おきたま最前線の考古展」を開催している。



(2) 第17回企画展

- テーマ 「じょうもん天地人ーやまがた前期縄文人のたたかいー」
- 開催期間 2009年10月1日(木)～11月29日(日)

今年度は、日本考古学協会が山形で開催されるのに関連し、縄文時代前期をテーマに展示を行った。押出遺跡資料を中心とした縄文時代前期資料のほか、早期・中期の資料を加え、縄文前期がどのような時期だったのか、前後の時期との比較や繋がりがわかるように展示を行った。

また、期間限定ではあるが本物の彩漆土器を展示し、好評を得た。

パネルにて展示を解説し、さらに展示解説シートを用意して展示内容を分かりやすく伝えた。



4. 教育普及活動

(1) 第17回考古学セミナー記念講演会

11月15日(日) 受講者 48名

基調講演「縄紋前期人のたたかい」

東北芸術工科大学教授 安齋 正人 氏

地球環境の変化と人間の生活の営みについて縄文時代前半の時期を例にわかりやすく講演いただいた。



(2) 体験教室

① 勾玉・弓矢をつくろう

5月23日(土)・8月15日(土)・11月3日(祝)

資料館の展示を見学のあと、滑石を使って勾玉、竹を使って弓矢を作った。

② ガラス玉をつくろう

6月13日(土)・12月12日(土) 12組参加

ガラスをとかし、芯棒に巻きつける方法で、古墳などから出土するガラス玉を作った。

③ 縄文土器をつくろう—野焼きのための焼物教室—

形づくり 8月8日(土) 44名参加

野焼き 10月10日(土)

④ 石器をつくろう

8月15日(土) 11名参加

今年度初開催。頁岩や黒曜石を鹿野の角を使って割り、石器作り体験を行った。

⑤ 編布(あんぎん)をつくろう

1月19日(土)

⑥ 赤ちゃん手形づくり

5月1日より5月5日まで 手形数557個

縄文時代の遺跡から出土した子供の手形土製品を、親子で楽しんで再現することを目的に実施し、9年目の開催となった。過去最高だった昨年度をさらに上回る参加があり、人気の事業といえる。



(3) 遺跡研修

① 春の遺跡めぐり

6月7日(日) 参加者25名

東根市・村山市の史跡・資料館など

東根市では、保角里志氏より大森山磨崖仏や東の杜資料館などをご案内いただき見学した。

村山市では、河島山遺跡などを見学した。

②秋の遺跡めぐり

9月20日(日) 参加20名

長井市・白鷹町の史跡・資料館など

長井市古代の丘資料館では、岩崎義信氏より解説いただき、白鷹町では、平吹利数氏より深山観音・荒砥城址・鮎貝城址などをご案内いただいた。



(4) 第11期「考古学セミナー」

企画展の内容に合わせて、「やまがたの縄文時代前期を考える」をテーマとして開催、学習した。縄文時代前期の低湿地に生きた人々がどのような文化を持って生活していたのか、また前後の早期・中期との繋がりを最新の考古学資料をもとに、県内の最前線で研究している講師により講義を行った。

受講者延べ143名

●第1回 7月12日 「やまがたの前期縄文遺跡とその特色」

当館館長 佐藤 鎮雄

●第2回 7月19日 「やまがたの前期縄文土器と地域間交流」

財団法人山形県埋蔵文化財センター 水戸部秀樹氏

「東北の縄文前期にみる森林文化」

東北芸術工科大学 福田 正宏氏

●第3回 7月26日 「やまがたの縄文時代前期の集落」

財団法人山形県埋蔵文化財センター 小林 圭一氏

「やまがたの前期縄文人の土器調理と食」

東北芸術工科大学 北野 博司氏

●第4回 8月2日 「やまがたの前期縄文石器と地域間交流」

当館職員 秦 昭繁

●第5回 8月9日 「やまがたの前期縄文人のくらし」

財団法人山形県埋蔵文化財センター 菅原 哲文氏

(5) 考古資料検討会

2009年度山形の考古資料検討会

2月21日(日) 55名参加

基調報告「2009年度山形県の発掘調査概要」

報告遺跡 北目古墳・西谷地B遺跡・鎌倉上遺跡・百刈田遺跡

(6) 第Ⅳ期うきたむ学講座

今年度で4年目となる。うきたむ学講座実行委員会と共催。

日頃は市町村、地区単位で歴史探究や啓蒙活動を行っている方々に、今年度は片倉小十郎をテーマにそれぞれの地域との関わりを講演いただいた。

受講者延べ219名

●第1回 1月17日(日)

「片倉小十郎と高島」 ゲンジ蛍とカジカ蛙愛護会 島津 憲一氏

- | | | | |
|------|--------------|-------------|---------|
| | 「片倉小十郎と長井」 | 置賜史談会 | 渋谷 敏己 氏 |
| ●第2回 | 2月7日(日) | | |
| | 「春日元忠の生涯と仕事」 | うきたむ考古の会 | 小林 貴宏 氏 |
| | 「片倉小十郎年表事始」 | 当館館長 | 佐藤 鎮雄 |
| ●第3回 | 3月7日(日) | | |
| | 「片倉小十郎と米沢」 | 米沢市上杉博物館 | 阿部 哲人 氏 |
| | 「片倉小十郎と川西」 | 川西町協働の町づくり課 | 藤田 宥宣 氏 |

(7) 学校教育との連携

今年度も、学校等の団体で入館を希望する場合には、来館の目的・展示説明や体験学習の有無・利用に際しての希望などを指示していただく「利用打ち合わせ書」の提出を依頼している。また、利用後の「利用評価表」の記入も引き続き依頼し、その評価から改善点などを参考にしている。

多くの学校が、資料館と歴史公園・近隣史跡の見学を組み合わせ利用している。また、体験学習（勾玉づくり・弓矢づくり・編布づくり・火起



し・縄文服試着等)を行い、昔の物作りを学習する機会が多い。社会科学習や、親子行事での利用での利用が大半を占めた。広報と学習内容を検討し、さらに地域教育に根ざした資料館を目指したい。

(8) 学芸員実習

8月6～12日

今年度は東北芸術工科大学の学生1名を受け入れた。

実習内容：体験学習補助など

5. 資料の活用

(1) 資料貸出

| 遺跡名 | 資料名 | 利用の理由 | 申請者 | 資料活用期間 | 備考 |
|-------|------------|-----------|-------------------|------------------------|----|
| 下野遺跡 | トチの実 | トチノキ利用の研究 | 東京大学総合研究博物館 特任研究員 | 平成21年6月～1年間 | |
| 日向洞窟 | 獣骨類 | 調査研究 | 京都大学 大学院生 | 平成21年6月～22年3月 | |
| 岩井沢遺跡 | 石器類 | 調査研究 | | 平成21年10月16日～ 10月22日 | |
| 北目古墳 | 北目古墳出土 須恵器 | 研究・資料調査 | 東北芸術工科大学歴史遺産学科 | 平成21年10月30日～ 12月1日 | |

(2) 写真利用

| 利用資料 | 利用目的(印刷物等の名称) | 利用者(発行者) | 発行日など | 部数 |
|------------------------|--------------------------------|--------------------------------|---------------|---------|
| 押出遺跡出土彩漆土器 炭化食物 | 高島町観光PR総合パンフレット | 高島町 | 平成21年5月 | 15,000 |
| 源福寺古墳出土資料壺 | 季刊韓国の考古学2009年夏号(第12号) | 滋賀県立大学人間文化学部 研究者(周留城出版・ソウル) | 平成21年6月 | |
| 押出遺跡炭化食物 | 展示図録『料理と厨房の歴史…こんなに変わった日本の食卓…』 | 船橋市飛ノ台史跡公園博物館 | 平成21年10月 | |
| 押出遺跡彩漆土器 (小川忠博氏撮影) | 『なぜ、日本はジャパンと呼ばれたか 漆の美学と日本のかたち』 | 輪島屋善仁八代目当主 中室勝郎(六耀社) | 平成21年11月 | |
| 押出遺跡彩漆土器・漆 附着土器・盤残欠 | ものが語る歴史シリーズ⑩『漆の考古学』 | 奥松島縄文村歴史資料館名誉館長 岡村道雄(株式会社同成社) | 平成22年1月 | |
| 押出遺跡出土彩漆土器 炭化食物 | 社会科資料集6年 | 株式会社 光文書院 | 平成22年4月 1日 | 100,000 |
| 押出遺跡出土彩漆土器 炭化食物 | チャレンジ6年生 4月号 社会科 | 有限会社ケーエヌプランニング(株ベネッセコーポレーション) | 平成22年4月 1日 | 200,000 |

(3) 資料館資料の特別利用

| 利用日時 | 利用資料 | 利用目的 | 利用者 |
|---------------|--------------------|-------|--------------|
| 平成21年5月30・31日 | 日向洞窟遺跡・押出遺跡出土動物遺存体 | 研究のため | 岡山理科大学総合情報学部 |
| | 日向洞窟遺跡出土獣骨資料 | 研究のため | 京都大学大学院生 |
| 平成21年8月20日 | 押出遺跡出土漆材図面調査 | 研究のため | 株式会社パレオ・ラボ |

(4) 刊行物一覧

平成21年4月1日から平成22年3月31日までの刊行状況は下記のとおりです。

| 書名 | 発行日 |
|---|------------|
| 館報うきたむ33号 | 平成21年7月15日 |
| 第17回企画展図録兼概説書「じょうもん天地人ーやまがた前期縄文人のたたかいー」 | 平成21年10月1日 |
| 館報うきたむ34号 | 平成22年1月15日 |
| 2009年報 | 平成22年3月31日 |

6. 入館状況

(1) 平成21年度 月別入館者一覧表

| 月別 | 有料入館者数 | | | | | | | 無料入館者数 | | | 合計 |
|-----|--------|-----|-----|-----|------|-----|-------|--------|-------|-----|------|
| | 個人 | | 団体 | | 減免者数 | | | 高校生以下 | 視察その他 | | |
| | 一般 | 大学生 | 一般 | 大学生 | 一般 | 大学生 | 高校生以下 | | 一般 | 大学生 | |
| 4月 | 86 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 121 | 63 | 0 | 273 |
| 5月 | 97 | 1 | 23 | 0 | 58 | 0 | 330 | 1055 | 1277 | 0 | 2841 |
| 6月 | 73 | 2 | 23 | 0 | 34 | 0 | 72 | 140 | 187 | 0 | 531 |
| 7月 | 72 | 2 | 212 | 0 | 25 | 0 | 60 | 76 | 190 | 0 | 637 |
| 8月 | 151 | 3 | 57 | 0 | 96 | 0 | 189 | 217 | 86 | 0 | 799 |
| 9月 | 42 | 2 | 24 | 0 | 131 | 0 | 339 | 58 | 136 | 0 | 732 |
| 10月 | 222 | 5 | 79 | 0 | 122 | 0 | 428 | 66 | 134 | 0 | 1056 |
| 11月 | 104 | 1 | 316 | 0 | 73 | 0 | 302 | 50 | 65 | 0 | 911 |
| 12月 | 4 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 6 | 0 | 88 | 0 | 104 |
| 1月 | 29 | 3 | 51 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 78 | 0 | 161 |
| 2月 | 19 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 273 | 0 | 296 |
| 3月 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 | 182 | 0 | 202 |
| 計 | 906 | 24 | 785 | 0 | 545 | 0 | 1726 | 1798 | 2759 | 10 | 8543 |

(2) 主な入館団体

高畠町立第一中学校、米沢市立三沢西部小学校、米沢市立東部小学校、山形県立米沢養護学校、高畠町立屋代小学校、高畠町立糠野目小学校、高畠町立和田小学校、鶴岡市立朝陽第一小学校、飯豊町立手ノ子小学校、南陽市立漆山中学校、高畠町立時沢小学校、東北芸術工科大学、川西町立小松小学校、小国町立白沼中学校、南陽市立赤湯小学校、飯豊町立第一小学校、米沢市立北部小学校、米沢市立関根小学校、高畠町子育て支援センター、米沢市立愛宕小学校、川西町学校教育研修所、学校法人西山学院高等学校、米沢市立窪田小学校、山形県立米沢商業高等学校、中山町立長崎小学校、新庄市立昭和小学校、川西町立吉島小学校、神奈川県立神奈川総合高等学校、酒田市立琢成小学校、米沢市立塩井小学校、山形県立長井高等学校、山形県立やまなみ学園、村山市教育委員会中村遺跡保存会、山形県立山形北高等学校、天童市立成生小学校

(3) 入館者アンケート

- 資料が少なすぎる。(東京都・70代男性)
- ライティングをもう少し工夫したらよいのではないか。(埼玉県・40代男性)

<体験学習等の参加者から>

赤ちゃん手形作り

- 子供と家で予行練習をしてきたので上手にできました。(村山地方・女性)
- 兄妹のよい記念になると思います。(村山地方・女性)
- 一生の記念になり、良い思い出になりました。(置賜地方・女性)

勾玉・弓矢作り

- 親子で楽しく参加でき、とても良い思い出になりました。(置賜地方・女性)
- 初めての体験でしたが個性的なものができました。楽しかったです。(東京都・女性)
- 楽しく参加させていただきました。次回また来たいです。(村山地方・女性)

親子でガラス玉作り

- 初めて体験をして楽しかったです。また来てみたいです。(置賜地方・女性)
- 2回目の参加だったけど楽しかったです。(小学6年生女子)

石器作り

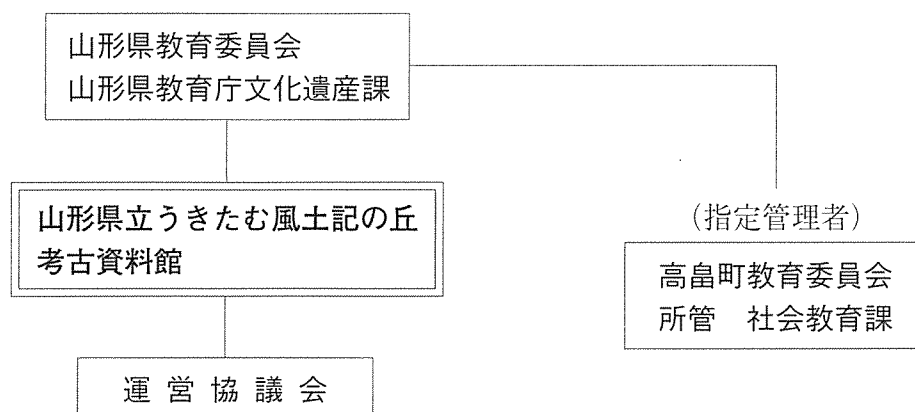
- 黒曜石ははじめて見た。石器づくりは楽しかった。(小学6年生女子)
- 貴重な体験ができてよかった。石をたたくのがおもしろかったです。(小学5年生男子)
- この1年間を通じて石器のことを調べていたので、石器作りの体験をできてとてもためになりました。(小学3年生女子)

学校関係者から

- 竪穴住居の再現がとてもわかりやすかった。
- 学習後の感想からも、土器などを見て詳しく説明していただいたことで理解を深められたようだ。
- 体験学習では、始める前から楽しみにしていて、とても興味をもって楽しんでいた。

7. 管理及び運営

(1) 組織・職員



運営協議会

[本館運営協議会委員名簿]

| 氏名 | 備考 |
|--------|-------------------------|
| 村野 隆 男 | 米沢市教育委員会文化課長 |
| 柏倉 俊 夫 | 財団法人山形県埋蔵文化財センター専務理事 |
| 青木 敏 雄 | 川西町立中郡小学校校長 |
| 村田 武 | 高島地区公民館館長 高島町文化財保護委員 |
| 吉野 智 雄 | 上市市立図書館長 県文化財保護指導員 |
| 高梨 善三郎 | うきたむ考古の会副会長 |

委員長 吉野 智 雄

(2) 運営協議会

第1回 開催期日 11月6日(金)

本館研修室

会議内容

- ①平成20年度考古資料館事業報告
- ②平成21年度考古資料館事業状況報告
- ③その他

第2回 開催期日 2月26日(金)

本館研修室

会議内容

- ①平成21年度考古資料館事業報告
- ②平成22年度考古資料館事業計画
- ③その他

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 職員

| 職名 | 氏名 | 備考 |
|------|--------|-------|
| 館長 | 佐藤 鎮 雄 | 非常勤 |
| 館長代理 | 井田 秀 和 | 高島町職員 |
| 学芸員 | 森谷 幸 | 嘱託 |
| 職員 | 小関 利 恵 | 嘱託 |
| 職員 | 福崎 稔 | 嘱託 |
| 職員 | 秦 昭 繁 | 嘱託 |

8. 受 贈 図 書

年 報

| 名 称 | 発 行 者 |
|-------------------------|--------------------------------|
| 浦幌町立博物館年報 第9号 | 浦幌町立博物館 |
| 館報 第6号 | 苫小牧市博物館 |
| 特別史跡 三内丸山遺跡年報11・12 | 青森県教育委員会 |
| 青森県立郷土館報 通巻36号 | 青森県立郷土館 |
| 岩手県立博物館年報 平成20年度 | 岩手県文化振興事業団・岩手県立博物館 |
| 盛岡市遺跡の学び館 平成18・19年度館報 | 盛岡市遺跡の学び館 |
| 北上市埋蔵文化財年報 2005・2006年度 | 北上市埋蔵文化財センター |
| 秋田県埋蔵文化財センター年報 27 | 秋田県埋蔵文化財センター |
| 秋田城跡 秋田城跡調査事務所年報2008 | 秋田市教育委員会 |
| 宮城県多賀城跡調査研究所年報2008 多賀城跡 | 宮城県多賀城跡調査研究所 |
| 東北歴史博物館 平成20年度年報 | 東北歴史博物館 |
| 地底の森ミュージアム・縄文の森広場年報2009 | 仙台市教育委員会・仙台市市民文化事業団・仙台市富沢遺跡保存館 |
| 年報 平成20年度 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 山形市埋蔵文化財調査年報 平成19年度 | 山形市教育委員会 |
| 米沢市文化財年報 No21 | 米沢市教育委員会 |
| 年報 通巻第24号 | 齋藤茂吉記念館 |
| 浜田広介記念館館報 第10号 | 浜田広介記念館 |
| 東京都埋蔵文化財センター年報28・29 | 東京都埋蔵文化財センター |
| 千葉県立房総のむら年報23 | 千葉県立房総のむら |
| 市立市川考古博物館館報 第36号 | 市立市川考古博物館 |
| 松戸市立博物館年報 第16号 | 松戸市立博物館 |
| 館報 第4号 | 埼玉県立さきたま史跡の博物館 |
| 栃木県立なす風土記の丘資料館年報 第17号 | 栃木県教育委員会・栃木県立なす風土記の丘資料館 |
| 栃木県立しもつけ風土記の丘資料館年報 第23号 | 栃木県教育委員会・栃木県立しもつけ風土記の丘資料館 |
| 埋蔵文化財センター年報 第19号 | とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター |
| 土浦市立博物館年報 第21号 | 土浦市立博物館 |
| 小美玉市史料館報 第3号 | 小美玉市玉里史料館 |
| 財)群馬県埋蔵文化財調査事業団年報28 | 財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団 |
| 新潟県立歴史博物館年報 第9号 | 新潟県立歴史博物館 |
| 新潟県埋蔵文化財調査事業団年報 平成20年度 | 新潟県埋蔵文化財調査事業団 |
| 金沢城調査研究所年報2 平成20年度 | 石川県金沢城調査研究所 |
| 長野県立歴史館年報 第11号 | 長野県立歴史館 |
| 館報 平成20年度 | 福井県立若狭歴史民俗資料館 |
| 岐阜県博物館報 第32号 | 岐阜県博物館 |
| 滋賀県埋蔵文化財調査年報 平成19年度 | 滋賀県教育委員会事務局文化財保護課・滋賀県埋蔵文化財センター |
| 年報 平成20年度 | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 財)京都市埋蔵文化財研究所年報 平成18年度 | 財団法人 京都市埋蔵文化財研究所 |
| 大阪府立近つ飛鳥博物館 館報12 | 大阪府立近つ飛鳥博物館 |
| 要覧 平成20年度 | 岡山県立吉備路郷土館 |
| 下関市立考古博物館年報14 平成20年度 | 下関市立考古博物館 |
| 九州歴史資料館年報 平成20年度 | 九州歴史資料館 |
| 朝倉市文化財年報 平成18・19年度 | 朝倉市教育委員会 |
| 大分県立歴史博物館年報 2008 | 大分県立歴史博物館 |
| 宮崎県立西都原考古博物館年報 2008年度 | 宮崎県立西都原考古博物館 |
| 宮崎県総合博物館年報 No38 | 宮崎県総合博物館 |

| | |
|-------------------|------------|
| 明治大学博物館年報 2007年度 | 明治大学博物館 |
| 同志社大学歴史資料館 館報第12号 | 同志社大学歴史資料館 |

図 録

| 名 称 | 発 行 者 |
|------------------------|---------------------------|
| アイヌの美 | 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構 |
| 岩手・斯波の平泉文化 | 盛岡市遺跡の学び館 |
| 民芸の美 菅原清蔵コレクション2 | 一関市博物館 |
| 一関藩の戊辰戦争 | 一関市博物館 |
| 北上と日本のセミ・せみ・蟬 | 北上市立博物館 |
| 秋田の自然と人の暮らし | 秋田県立博物館 |
| 東北の群像 | 東北歴史博物館 |
| 漆の考古学 | 仙台市教育委員会・仙台市富沢遺跡保存館 |
| 山寺一歴史と祈り一 | 山形県立博物館 |
| 土偶展 | 山形県長井市教育委員会 |
| 清水台遺跡と古代の郡山 | 郡山市教育委員会 |
| 武蔵府中と鎌倉街道 | 府中市郷土の森博物館 |
| ヒトが移る、モノが動く | 横浜市歴史博物館 |
| 昭和30-40年代の旅 | 横浜市歴史博物館 |
| 鶴見合戦 | 横浜市歴史博物館 |
| 江戸時代のよこはまー青葉の村々と矢倉沢往還一 | 横浜市歴史博物館 |
| 古代のムラの神・仏 | 横浜市歴史博物館 |
| お願い!かみさま、ほとけさま | 横浜市歴史博物館 |
| 縄文文化円熟 | 横浜市歴史博物館 |
| 黒船・開国・社騒乱 | 横浜市歴史博物館 |
| 海賊一室町・戦国時代の東京湾と横浜一 | 横浜市歴史博物館 |
| 国立歴史民俗博物館 要覧 | 国立歴史民俗博物館 |
| 錦絵はいかにつくられたか | 国立歴史民俗博物館 |
| 百鬼夜行の世界 | 国立歴史民俗博物館 |
| 日本建築は特異なのか | 国立歴史民俗博物館 |
| 縄文はいつから!? | 国立歴史民俗博物館 |
| 料理と厨房の歴史 | 船橋市飛ノ台史跡公園博物館 |
| 那須の横穴墓 | 栃木県教育委員会・栃木県立なす風土記の丘資料館 |
| ムラから見た古墳時代 | 栃木県教育委員会・栃木県立しもつけ風土記の丘資料館 |
| 沼尻墨僊一城下町の教育者 | 土浦市立博物館 |
| 古代の筑波山信仰 | 土浦市立博物館 |
| 縄文人の道具箱 野首遺跡 | 十日町市博物館友の会・十日町市博物館 |
| 越中と美濃を結ぶ考古展 | 富山市教育委員会 |
| 善光寺信仰一流転と遍歴の勅化 | 長野県立歴史館 |
| 卑弥呼時代の黄泉世界 | 山梨県立考古博物館 |
| 王の湖・武士の湖 | 滋賀県教育委員会事務局文化財保護課 |
| 仏法の初め、茲より作れり | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 大型建物から見えてくるもの | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 水中考古学の世界 | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 戦国の城一安土城への道 | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 妖怪大集合!! | 南丹市立文化博物館 |
| 園部藩のあゆみ | 南丹市立文化博物館 |
| 高井梯三郎氏の調査の足跡 | 辰馬考古資料館 |
| 銅鐸から銅鏡へ | 辰馬考古資料館 |
| 古代の女性 | 大阪府立近つ飛鳥博物館 |

| | |
|----------------------|----------------|
| 百舌鳥・古市 大古墳群展 | 大阪府立近つ飛鳥博物館 |
| 卑弥呼死す 大いに冢をつくる | 大阪府立近つ飛鳥博物館 |
| 河内平野の集落と古墳―謎の4世紀を探る― | 大阪府立近つ飛鳥博物館 |
| ふたつの飛鳥の終末期古墳 | 大阪府立近つ飛鳥博物館 |
| 桜井の小古墳 | 桜井市文化財協会 |
| 衣食住の原材料を里山に求めて | 和歌山紀伊風土記の丘 |
| 出雲国司忌部子首 着任千三百年 | 鳥根県立八雲立つ風土記の丘 |
| 鹿と人のアンソロジー | 鳥根県立八雲立つ風土記の丘 |
| 木の文化Ⅱ―古墳時代の木器― | 下関市立考古博物館 |
| 兜―もののふの美意識― | 高知県立歴史民俗資料館 |
| 有明の海と縄文人 | 佐賀市教育委員会 |
| おおいた発！幕末文化維新 | 大分県立歴史博物館 |
| 何の意ぞ碧山に栖む | 宮崎県立西都原考古博物館 |
| 早稲田考古学 その足跡と展望 | 早稲田大学會津八一記念博物館 |
| 京都大学所蔵古瓦図録Ⅲ | 京都大学大学院文学研究科 |
| 白鷗楼文庫 | 瑞巖寺 |

紀 要

| 名 称 | 発 行 者 |
|--|--------------------------------|
| 浦幌町立博物館紀要 第9号 | 浦幌町立博物館 |
| 青森県立郷土館研究紀要 第33号 | 青森県立郷土館 |
| 岩手県立博物館研究報告 第26号 | 岩手県立博物館 |
| 一関市博物館研究報告 第12号 | 一関市博物館 |
| 秋田県立博物館研究報告 第34号 | 秋田県立博物館 |
| 秋田県埋蔵文化財センター研究紀要 第23号 | 秋田県埋蔵文化財センター |
| 東北歴史博物館研究紀要10 | 東北歴史博物館 |
| 地底の森ミュージアム・縄文の森研究報告2008 | 仙台市教育委員会・仙台市市民文化事業団 仙台市富沢遺跡保存館 |
| 東京国立博物館紀要 第44号 | 東京国立博物館 |
| MUSEUM No616～621 | 東京国立博物館 |
| 研究論集 XXIV、XXV | 東京都埋蔵文化財センター |
| 横浜市歴史博物館紀要 第12、13号 | 横浜市歴史博物館 |
| 横浜市歴史博物館調査研究報告 第4号 | 横浜市歴史博物館 |
| 松戸市立博物館紀要 第16号 | 松戸市立博物館 |
| 研究ノート山武 特別号 | 山武郡市文化財センター |
| 埼玉県立史跡の博物館紀要 第3号 | 埼玉県立さきたま史跡の博物館・埼玉県立嵐山史跡の博物館 |
| 土浦市立博物館紀要 第19号 | 土浦市立博物館 |
| 研究紀要 第17号 | とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター |
| 研究紀要 金沢城研究 第7号 | 石川県金沢城調査研究所 |
| 長野県立歴史館 研究紀要 第15号 | 長野県立歴史館 |
| 岐阜県博物館調査研究報告 第30号 | 岐阜県博物館 |
| 紀要 第17号 | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 元興寺文化財研究所 研究報告2008 | 元興寺文化財研究所 |
| 辰馬考古資料館 考古学研究紀要 6 | 辰馬考古資料館 |
| 研究紀要 第13号 | 下関市立考古博物館 |
| 愛媛県歴史文化博物館研究紀要 第14号 | 愛媛県歴史文化博物館 |
| 研究紀要 第17号 | 高知県立歴史民俗資料館 |
| 大分県立歴史博物館 研究紀要10 | 大分県立歴史博物館 |
| 宮崎県立西都原考古博物館 研究紀要 第5号 | 宮崎県立西都原考古博物館 |
| 宮崎県内出土鉄製品データベース 宮崎県立西都原考古博物館調査研究報告書 第1集 | 宮崎県立西都原考古博物館 |

| | |
|--------------------------------|------------------------|
| 宮崎県総合博物館研究紀要 第29輯 | 宮崎県総合博物館 |
| 東北芸術工科大学紀要 No16 | 東北芸術工科大学 |
| 文化財保存修復研究センター研究成果報告書 平成19～21年度 | 東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター |
| 日本古代学 第1号 | 明治大学日本古代学教育・研究センター |
| 古代学研究所紀要 特集号、7、9、10号 | 明治大学古代学研究所 |
| 早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要 第10号 | 早稲田大学會津八一記念博物館 |
| 國學院大學博物館學紀要 第33輯 | 國學院大學博物館学研究室 |
| 大手前大学史学研究所紀要 第7号 | 大手前大学史学研究所 |

報告書

| 名 称 | 発 行 者 |
|--|--------------------|
| 柏木川4遺跡(4) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第264集 | 北海道埋蔵文化財センター |
| 三内丸山遺跡33 他4 青森県埋蔵文化財調査報告書 第462、463、476～478集 | 青森県教育委員会 |
| 市内遺跡発掘調査報告書17 他3 青森市埋蔵文化財調査報告書 第99～102集 | 青森市教育委員会 |
| 平泉遺跡群発掘調査報告書 柳之御所遺跡 岩手県文化財調査報告書第127集 | 岩手県教育委員会 |
| 柿ノ木平遺跡 堰根遺跡 | 盛岡市・盛岡市教育委員会 |
| 川目A遺跡 他5 | 盛岡市教育委員会・盛岡市遺跡学びの館 |
| 五条丸Ⅱ遺跡 他5 北上市埋蔵文化財調査報告第31、33、83、84、91、92集 | 北上市教育委員会 |
| 特別史跡 無量光院跡発掘調査報告書Ⅲ 他5 岩手県平泉町文化財調査報告書第99、107～111集 | 平泉町教育委員会 |
| 花巻市文化財調査報告書(一般文化財) 花巻市文化財調査報告書 第3集 | 岩手県花巻市教育委員会 |
| 不動Ⅰ遺跡 他3 花巻市埋蔵文化財発掘調査報告書 第8～11集 | 岩手県花巻市教育委員会 |
| 野田Ⅱ遺跡 他2 一戸町文化財調査報告書第63～65集 | 一戸町教育委員会 |
| 柏木岱Ⅱ遺跡 他6 秋田県文化財調査報告書第442～448集 | 秋田県教育委員会 |
| 市川橋遺跡の調査 他3 宮城県文化財調査報告書第218～221集 | 宮城県教育委員会 |
| 長町駅東遺跡第3次調査 仙台市文化財調査報告書第340集 | 仙台市教育委員会 |
| 奥州街道・大衡一里塚ほか 大衡村文化財調査報告書第4集 | 宮城県大衡村教育委員会 |
| 成田遺跡 美里町文化財調査報告書第4集 | 美里町教育委員会 |
| 日の出山窯跡群Ⅰ 多賀城関連遺跡発掘調査報告書第34冊 | 宮城県多賀城跡調査研究所 |
| 分布調査報告書(35) 他1 山形県埋蔵文化財調査報告書第210、211集 | 山形県教育委員会 |
| 玉作1遺跡 第1～3次発掘調査報告書 他11 山形県埋蔵文化財センター調査報告書第170～181集 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 山形城三の丸跡(城北遺跡)発掘調査報告書 山形県山形市埋蔵文化財調査報告書第30集 | 山形市教育委員会 |
| 遺跡詳細分布調査報告書 第22集 米沢市埋蔵文化財調査報告書 第96集 | 米沢市教育委員会 |
| 綱木獅子踊り記録保存調査報告書 米沢市文化財調査報告書第5集 | 米沢市教育委員会 |
| 市内遺跡発掘調査報告書(17) 山形県長井市埋蔵文化財調査報告書 第29集 | 長井市教育委員会 |
| 寒河江市内遺跡発掘調査報告書(15) 山形県寒河江市埋蔵文化財調査報告書第31集 | 寒河江市教育委員会 |
| 左沢楯山城跡調査報告書(11) 大江町埋蔵文化財調査報告書 第12集 | 大江町教育委員会 |

| | |
|--|-------------------------------|
| 北田2遺跡発掘調査報告書 他2 酒田市教育委員会報告書 | 酒田市教育委員会 |
| 小山崎遺跡 第15次発掘調査報告書 遊佐町埋蔵文化財調査報告書 第8集 | 遊佐町教育委員会 |
| 置賜地域の終末期古墳2 東北芸術工科大学考古学研究所報告第8冊 | 東北芸術工科大学考古学研究室 |
| 金峰山信仰関連社寺文化財調査報告書 他1 | 東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター |
| 田中遺跡―第3次調査報告― 他2 | 福島県郡山市教育委員会 |
| 弘源寺貝塚 他6 いわき市埋蔵文化財調査報告 第130、132～135、137、138冊 | いわき市教育委員会 |
| 若松城郭内武家屋敷跡 他2 会津若松市文化財調査報告書第117～119号 | 会津若松市教育委員会 |
| 史跡桑折西山城跡発掘調査報告書(第1次調査) 桑折町埋蔵文化財調査報告書21 | 桑折町教育委員会 |
| 阿津賀志山防塁史跡指定調査概報1・他 国見町文化財調査報告書第16集 | 国見町教育委員会 |
| 庚申壇古墳2 福島大学考古学研究所報告第4集 | 福島大学行政政策学類考古学研究室 |
| 千駄木三丁目北遺跡 他9 東京都埋蔵文化財センター調査報告 第230～238、50集 | 東京都埋蔵文化財センター |
| 市場I遺跡 他1 北本市埋蔵文化財調査報告書 第5、16集 | 北本市教育委員会 |
| 岩山中袋遺跡(2015-14地点) 他3 山武郡市文化財センター発掘調査報告書第100～103集 | 芝山町・山武郡市文化財センター |
| 白井十二遺跡 他27 群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第427、448、453～477、479集 | 群馬県埋蔵文化財調査事業団 |
| 時沢西高田遺跡 他3 | 富士見村教育委員会 |
| 小串塚原遺跡 黒熊卯木原遺跡 他1 吉井町埋蔵文化財発掘調査報告書第87、88集 | 群馬県多野郡吉井町教育委員会 |
| 西物井遺跡(本文編・遺物編・遺構編) 他12 栃木県埋蔵文化財発掘調査報告第316～326、92、117集 | 栃木県教育委員会・とちぎ生涯学習文化財団 |
| 北陸新幹線関係発掘調査報告書IX 他9 新潟県埋蔵文化財調査報告書 第191、192、194～196、198～200、203、204集 | 新潟県教育委員会 |
| 梶花遺跡発掘調査報告書 他1 十日町市埋蔵文化財発掘調査報告書 第39、40集 | 新潟県十日町市教育委員会 |
| 大割野谷内田A遺跡 大割野谷内田B遺跡 津南町文化財報告書 第53輯 | 津南町教育委員会 |
| 京都国立博物館構内発掘調査報告書 他1 京都市埋蔵文化財研究所調査報告第23冊 | 京都市埋蔵文化財研究所 |
| 肥田城遺跡I 他8 | 滋賀県教育委員会事務局文化財保護課 |
| 史跡 高野山金剛峯寺中門跡 高野町文化財調査報告書第3集 | 宗教法人金剛峯寺・高野町教育委員会(財)元興寺文化財研究所 |
| 平城京右京一条三坊一坪 平成18年度発掘調査報告書 他2 | 財)元興寺文化財研究所 |
| 青谷上寺地遺跡木器埋蔵環境調査報告書 他1 鳥取県埋蔵文化財センター調査報告26、27 | 鳥取県埋蔵文化財センター |
| 坪栗遺跡 他1 西予市埋蔵文化財調査報告書第1、2集 | 愛媛県西予市教育委員会 |
| 八並遺跡・井出野遺跡 他2 朝倉市文化財調査報告書 第5～7集 | 朝倉市教育委員会 |
| 中原遺跡Ⅲ 5区の調査 佐賀県文化財調査報告書第179集 | 佐賀県教育委員会 |
| 佐賀市埋蔵文化財確認調査報告書確認調査報告書 他12 佐賀市埋蔵文化財調査報告書第28～39、41集 | 佐賀市教育委員会 |
| 築山遺跡 大和町文化財調査報告書第70集 | 大和町教育委員会 |
| 力石遺跡 第2次調査発掘調査報告書 | 玉川文化財研究所 |
| 鹿児島大学構内遺跡郡元団地Q-4区 鹿児島大学埋蔵文化財調査室調査報告書 第4集 | 鹿児島大学埋蔵文化財調査室 |

| | |
|---------------|-------------------------|
| 東京都八王子市 小田野遺跡 | 社会福祉法人 永寿会・(有)吾妻考古学研究所 |
| 東京都八王子市 辺名遺跡 | 社会福祉法人 白百合会・(株)武蔵文化財研究所 |
| 瑞巖寺境内遺跡 | 宗)瑞巖寺 |
| 常世遺跡資料 | 常世遺跡資料刊行会 |

資料目録

| 名 称 | 発 行 者 |
|---|--------------------|
| 佐藤家文書詳細目録・報告書 | 東北芸術工科大学東北文化研究センター |
| 横浜市歴史博物館資料目録 第16、17集 | 横浜市歴史博物館 |
| 絵画資料目録 愛媛県歴史文化博物館資料目録第17集 | 愛媛県歴史文化博物館 |
| 寺石正路関係資料目録Ⅲ 平成20年度高知県立歴史民俗資料館 収蔵資料目録第14集 | 高知県立歴史民俗資料館 |
| 長野県立歴史館収蔵文書目録8 | 長野県立歴史館 |
| 東京国立博物館所蔵 骨角器集成 | 東京国立博物館 |

学 術

| 名 称 | 発 行 者 |
|---------------------------|------------------------|
| やまがたの歴史を掘る | 教育文化センター |
| 文化としての石器づくり | (株)学生社 |
| 写真と図解 日本の古墳・古代遺跡 | (株)西東社 |
| 食の民俗考古学 ものが語る歴史11 | (株)同成社 |
| 旧石器時代の社会と文化 日本史リブレット1 | (株)出川出版社 |
| 東北古墳探訪 | 彩流社 |
| 季刊 東北学 第十九～二十一号 | 東北芸術工科大学 東北文化研究センター |
| 真澄学 第五号 | 東北芸術工科大学 東北文化研究センター |
| 地域を創る文化遺産の可能性 | 東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター |
| 山形県の中世磨崖仏・板碑・碑 蓬莱波形山叢書第十集 | 村山民俗学会・加藤和徳 |
| 羽前の庚申像図絵 蓬莱波形山叢書第十一集 | 村山民俗学会・加藤和徳 |
| 米沢史学 第25号 | 米沢史学会 |
| 羽陽文化 第153号 | 山形県文化財保護協会 |

単行本

| 名 称 | 発 行 者 |
|---------------------------|-------------|
| もがみ川—記憶と再発見— | 山形県生涯学習文化財団 |
| 美術資料に歴史を読む 歴史研究の最前線Vol.11 | 国立歴史民俗博物館 |
| なぜ、日本はジャパンと呼ばれたか | (株)六耀社 |

その他

| 名 称 | 発 行 者 |
|-------------------------------------|-----------------------|
| 第35回 古代城柵官衙遺跡検討会 資料集 | 古代城柵官衙遺跡検討会 第35回事務局 |
| 国指定史跡 西沼田遺跡整備事業報告書 | 天童市教育委員会 |
| 斎藤茂吉記念歌集 第35集 | 斎藤茂吉記念館 |
| 博物館評価制度等の構築に関する調査研究報告書 | 財)日本博物館協会 |
| 日本の博物館総合調査研究報告書 | 財)日本博物館協会 |
| れきはくにいこうよ2007 | 国立歴史民俗博物館 |
| 平成20年度 博物館に関する基礎資料 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター |
| よみがえる金沢城2 | 石川県教育委員会・石川県金沢城調査研究所 |
| 那須の渡来文化を考える 平成20年度企画展記念シンポジウム報告書 | 栃木県立なす風土記の丘資料館 |

| | |
|---|------------------------|
| 平成20年度 津南町農と縄文体験実習館 体験実習活動報告書 第4集 | 津南町教育委員会 |
| 金剛寺の版本 | 元興寺文化財研究所 |
| 有明の海と縄文人 公開シンポジウム | 佐賀市教育委員会 |
| 日本最古の石鳥居群は語る | 東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター |
| 海を渡った黒い聖母 | 東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター |
| 東北縄文前期の集落と墓制 | 東北芸術工科大学東北文化研究センター |
| 早稲田考古学 その足跡と展望 | 早稲田大学 |
| 人類誌集報 2006・2007 | 首都大学東京人類誌調査グループ |
| 越後文書宝翰集 上野氏文書・発智氏文書 新潟大学大域プロジェクト研究資料叢刊XⅢ | 新潟大学 矢田俊文・新潟県立歴史博物館 |
| 日本考古学協会2009年度大会 研究発表要旨・資料集 | 日本考古学協会 |
| 近岡善次郎画伯寄贈作品集 | 近岡善次郎画伯寄贈作品集制作委員会 |
| 明日への文化財 60号 | 文化財保存全国協議会 |

9. 利 用 案 内

- ◆ 交通案内 JR高島駅よりタクシーで15分
JR高島駅より自転車で40分
*高島駅にレンタサイクルがあり、「まほろばの緑道」のサイクリング道があります
- ◆ 開館時間 AM9:00～PM4:30
- ◆ 休館日 月曜日、国民の祝日（こどもの日と文化の日は無料で開館します）
年末年始（12月28日～1月4日）
大型連休中は、臨時開館の場合があります
燻蒸作業のため臨時休館の場合があります
- ◆ 入館料金 一般200円（150円）、学生100円（70円）、小中高生無料
（ ）は20名様以上の団体料金
- ◆ 入館料の減免 次の基準により減免（無料入館）します
 1. こどもの日、文化の日その他教育委員会が指定する日において資料館が主催する教育、学術及び文化の普及向上に資する行事に参加する者については入館料を免除する
 2. 前項に規定する者のほか、入館料の減免を受けることができる者は、次の各号の一つに該当する者とする
 - (1) 教育課程に基づく教育活動として入館する児童、生徒、学生及びこれらの引率者
 - (2) その他教育委員会が公益上特に必要があると認める者

*上記の2つの入館料の減免を受けようとする方は、入館料減免申請書を考古資料館に提出してください。尚、詳細については、当館にお問い合わせください。
 - (3) 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳の交付を受けている者、その付添い人
- ◆ 収蔵図書の利用
資料館に収蔵されている図書（県内等の報告書、各地特別展図録、体験学習資料他）の閲覧等利用することが出来ます。図版や写真の多い資料もございますので、是非ご利用ください。利用時間、休館は考古資料館と同様です。図書のみのご利用には入館料はかかりません。詳しくは事務室までお問い合わせください。

考古資料館利用の手引き

考古資料館では、小学生から社会人の方までを対象とした様々な学習活動のお手伝いをしております。ご希望の際は、下記項目及び後記打合せ書をご参考に、当館まで事前にご相談ください。（ただし、諸般の事情によりご希望に添えない場合もございます）

- ◆ **展示説明** 当館職員が展示を説明します。また、実物の資料・復元品に触れたり、収蔵しているパネルを使ってのご説明もいたします。
- ◆ **歴史公園を歩く** 当館を含む「まほろば古の里歴史公園」内には、復元された古墳や竪穴式住居、古代米の棚田などが整備されており、こちらをご案内します。
- ◆ **遺跡案内** 当館周辺には、日向洞窟（国史跡）や清水前古墳、金原古墳など多くの遺跡があります。こちらを現地でご案内します。
- ◆ **体験学習** 古代の技術を体験し、当時の人々の生活を学ぶこともできます（メニュー参照）。その他に体験したいことがございましたら、ご相談に応じます。

| メニュー | 内 容 | 所要時間 | 人 数 | 材料費 |
|-------------|---|--------------------|-----|------|
| 勾玉づくり | 滑石という柔らかい石で勾玉を作ります。 | 2時間 | 40名 | 200円 |
| 火おこし | ひもぎり式という摩擦を利用した古代以来の方法で、火を起こします。 | 30分 | 30名 | 無料 |
| 弓矢づくり | 竹を利用して、弓矢を作ります。 | 2時間 | 10名 | 200円 |
| 土器・土偶・土笛づくり | 市販の粘土を野焼き用に調整し、形を作り、縄文の模様などをつけて、野焼きします。 | 延べ2日 (成形日・野焼き日) | 20名 | 500円 |
| 編布（あんぎん）づくり | 古代以来の編み具を使って、10cm四方の程度の編み布（コースター）を作ります。 | 2時間 | 10名 | 200円 |

（目安として）

*学校団体等で行う体験事業（勾玉・弓矢をつくろう、編布をつくろう）の場合は、上記の材料費（参加費）とは異なる場合があります

県立考古資料館利用打ち合わせ書

この度は、当館をご利用いただきましてありがとうございます。当館の利用につきまして、下記の打ち合わせ書を当館までいただきますよう、よろしくおねがいたします。

| | | | |
|----------------------|--|---------|-------|
| 利 用 団 体 | | | |
| 学 年 | 年 | 引率者・代表者 | |
| 人 数 | 大人 名 小人 名 | | |
| 日時・所要時間 | 月 | 日 | : ~ : |
| 実 施 内 容 | 遠足・社会科見学・総合的な学習・クラブ活動・親子行事・PTA行事・その他（ ） | | |
| 来館のねらい | | | |
| 説 明 | 館内・歴史公園・近隣史跡（日向洞窟・金原古墳ほか） | | |
| 職員の説明の際に強調を希望する点 | 無・有（旧石器・縄文・弥生・古墳・古代中世・学校近辺の遺跡・当館周辺の遺跡・洞窟遺跡・押出遺跡） | | |
| 使いたい資料 | 無・有（実物・パネル等・復元縄文衣服） その他 { } | | |
| 研修室利用 | 希望しない・希望する（学習のため・雨天時の昼食のため） | | |
| 利用に当たって希望すること（体験学習等） | 体験：勾玉作り・火おこし等 | | |
| 交 通 手 段 | 貸切バス・路線バス・自家用車・レンタサイクル・徒歩・その他（ ） | | |
| 当日に利用する他の施設・史跡等 | | | |

*総合学習でご利用いただく場合は、これまでの経過・ご利用になった他の施設・機関等をお教え下さい。日程表・開催概要等がございましたら、こちらも送付下さい。

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 〒992-0302 東置賜郡高島町大字安久津2117
TEL 0238 - 52 - 2585 FAX 0238 - 52 - 4665

2009／年報

平成22年（2010年）3月31日 印刷・発行

編集発行 〒992-0302
山形県東置賜郡高畠町大字安久津2117
山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館
TEL 0238-52-2585
FAX 0238-52-4665

印刷 (株)芳文社よねざわ印刷

